



もらって活気のある同窓会にしたいと考えています。また、お年を重ねた方々のご意見はとても貴重ですので、若い人のアイディア・ご意見と合わせて、行動に移せるようなフットワークの良い組織づくりをしていきたいと思えます。そのためには、ぜひ若い卒業生にも同窓会に参加して頂きたいと存じます。しかし参加しようと思っただけのためには若い人たちにとってメリットが無ければ難しいと思います。そのよ

うなメリットを感じる企画を多くしていきたいと思っております。

それから学校側から見て「同窓会の活動内容がわかりづらい。」というご意見をよく伺います。

これは同窓会が今まで、活動内容をわかりやすく伝える、認識して頂くという行動が少なかつたことが主な原因だと思えます。これからは段階的にはありませんが、同窓会の活動内容を学校側に認識していただけるような努力にも注力していくことが大切だと考えています。やはり学校があつての同窓会ですから。この二点は現在の最重要課題です。

—では、これから同窓会で取り組んでみたいことはありますか？

まず直近の課題ですが、今年の鶴ヶ丘祭の出演方法を変えたいと思います。これまで鶴ヶ丘祭での同窓会のブースは入りづらい雰囲気が多ありました。

これからは幅広い年代の方々に来て頂くために様々な手法を凝らしていきたいと思えます。

将来、母校の発展に何が必要かを明確に捉え、お手伝いをする事ができる組織にしていきたいと思います。そのために現在、役員と話を重ねており、今後具体的な内容を煮詰めていきます。その他にも様々なプロジェクトの立案もあります。また、基礎

的な検討段階ですので道のりは決して楽ではありませんが、実現に向けて動いていきます。

—最後に同窓会を運営する上で阿部会長が考える最も重要な事は何でしょうか。

私は『先輩は後輩を育て、後輩は先輩を敬つ』その心さえ持っていれば確実に同窓会はさらに良い組織になると思っております。

